

もいのにぎわい通信

2017年1月28日 定例活動報告

日時：2017年1月28日（土）9：30～15：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 8～13℃ 湿度 30% 風向 西 風速 2m

参加者：15人：子ども4人、大人11人（内土地改良区0人）

■活動

9:45 受付

10:00 集合

ボランティアのご紹介

作業の打ち合わせ

10:15 作業開始

堆肥運び……一輪車、スコップ

苗木を配り置く……一輪車、リアカー

11:00 休憩

11:15 作業再開

苗木を植える……スコップ

水炊きの用意

12:00 昼食

13:00 作業開始

苗木を植える

水やり……水タンク、ジョウロ

15:00 後片づけ

15:30 解散

■活動報告

今月の定例会は、東京ガス環境おうえん基金“2016年度森活おうえん助成”を受けて行う、千の苗の移植作業です。千の苗は、平成20年の秋、近隣の小学校3校に協力してもらい活動地周辺で拾ったドングリの種をポットに蒔いて育てて貰いました。その小さかった幼苗を平成22年5月のグリーンウェイ植樹祭で苗木畑のように植えて育てていました。昨年、一昨年と大きくなった苗を掘って植え替えていましたが、200本近い苗木を人力だけでは、移植するのは難しく今回東京ガスの助成を受け、空いているスペースに移植することが実現しました。森の復元という地道な取り組みですが、大切に育ててきた大勢の子どもたちの思いが託されています。今回の助成が無ければ実現できなかったことです。

今まで、植林は毎年行ってきましたが、機械を使った大掛かりな移植は初めてです。移植準備として植える場所に印をつけた支柱を120本立ておき、専門家による重機（バックホウ）を使った穴掘りをしてもらいました。オペレーターさんの指示のもとバックホウの運転操作をされる方が枯れ草を除けて直径

40～50 cm、深さ 50 cm位の穴を掘るのですが、厄介者のクズの太い根っこがあってもスムーズに掘り進める機械力の凄さを再認識しました。200 本近い苗木を掘り起こしてもらい、植えられるように太い根っこを切って伏せ植えしてもらいました。

当日、穴が掘ってあればさぞ、楽に植えられると思っていたところ、いざ、植えてみるとススキの根っこの塊やゴロゴロした岩のような土の塊を砕いて埋め戻すのにずいぶんと骨が折れました。

また、牛ふん堆肥を一輪車に積んで凸凹になっているところを運ぶのは、いささか体力には自信があっても楽ではありません。そんな時、若手会員の古木さんも一輪車でその後を二人のお子さんがついて行く光景が微笑ましかったです。

真っ青に澄み渡ったお天気にも恵まれ、アクティボからボランティア登録をした 3 人の方に加え、国際交流の森山さんが応援に来てくれました。午前中にほぼ半分を植え終えたでしょうか。お昼は、水炊きを頂きながら参加者の交流を図りました。初めて参加された峰島さん、今回は、長靴持参で参加してくださいとの事、若い方の参加が嬉しいです。

午後は、気温も上がり春のような陽気となり汗だくでした。1時間おきの飲物休憩で水分補給している中、とりわけスコップで一生懸命苗木の根元に土を戻している M 君（6 歳）の姿に頭が下がりました。

さあ、もうひと頑張りと残りの苗木を植えていきました。午前中に植えた苗木から水をやってもらい、午後 3 時頃には、何とか 120 本植えきりました。

今回、土地改良区の皆さんは、別の作業の予定があって参加できない事やインフルエンザで森もりあそび隊親子の欠席の連絡もありました。人手がない状況では、120 本を植えるのは無理で来月に持ち越ししかないと思っていました。

でも、ボランティアのトゥーさんや花山さん、初めて参加の峰島さんの頑張りのお蔭で予定していた全部を植えることができました。皆さん、普段使っていない筋肉を相当使ったことでしょう。

4 月に移植したクヌギ・コナラの苗木に銀色の新芽が出てくるの見届けたいですね。

皆様、大変な作業にご協力頂き心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

(記録： 星野 静枝)

★準備作業

位置決めとポール立て

1月15日(日) 13:30～16:00 5人

1月21日(土) 13:30～16:00 4人

★機械による準備作業 1月26日(金)

.....

■森もりあそび隊

今年初森あそび

久しぶりの暖かい日となりました。前日は強風で水炊きができるか心配してましたが風のない森遊び日和でした。暖かいといってもまだまだ一月・・・池の表面には氷がはっていて厚みがあったので手で持ち上げることができました。ニホンアカガエルの卵はまだ見られませんでした。

森もりあそび隊の子どもたちは4名で兄妹コンビは到着後すぐに双眼鏡と虫かごを首からかけて探検に！でもお兄ちゃん・・・双眼鏡覗いてる側は逆ですよ～(^_^;)年長さんのお兄ちゃんは小さいころから参加してくれていますが最近とってお兄さんらしく、妹が転ばないように手を引いてる姿はとっても頼もしかった～

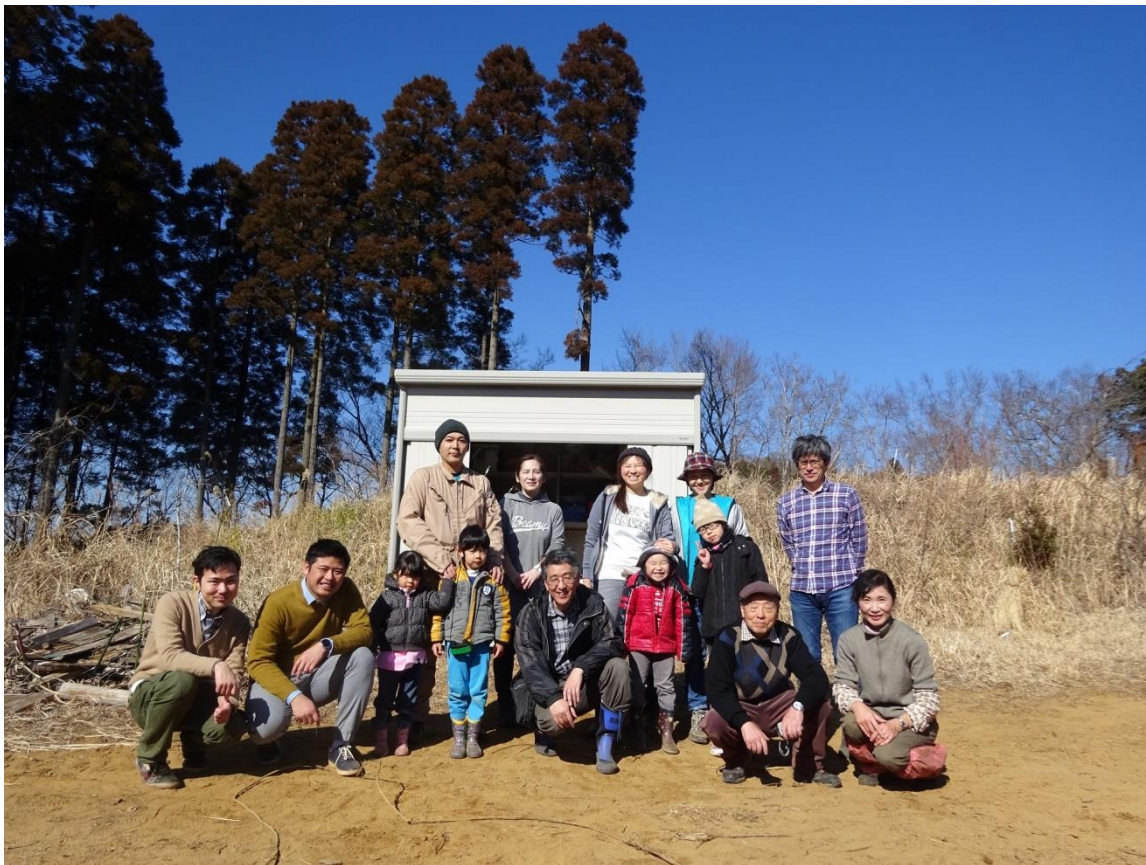
しばらくして虫かご見ると松ぼっくりがいっぱい入っていました。お兄ちゃんの話によると虫が全然いなかった様子・・・寒いからみんな隠れているのかな。

姉弟コンビは千の苗の植える作業をたくさん手伝ってくれました。牛糞堆肥を掘られている穴に入れたり、苗の邪魔になる根の部分をのこぎりや剪定ばさみで切り落としたり植えた後の支柱とひもで結んだり大活躍。最後はとってもやさしいボランティアのトゥーさんにくっついてニコニコ水やりしている弟君。120本植えた後の二人と一緒に水やりしている姿は、ほほえましく疲れが取れる一瞬でした。休憩の合間に姉弟コンビはハンモックで遊んだり、ツリーハウスに登りにいったりして楽しんでいました。お昼の時は大きい声をだすと谷間に声が響いていることに気づいた弟君。こだまを楽しみながらたくさん叫んでいました。大人は、帰りは心地よい疲れが・・・久しぶりに筋肉を動かしたので2~3日後は大変なことに。
(記録：和田みさ子)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、2月25日(土)(雨天の場合2月26日(日)) 苗木の枝の剪定、間伐材の片づけ、果樹の追肥をメインに行います。



集合写真



1/26 トラックで牛ふん堆肥が届く



1/26 専門家によるバックホウで穴掘り



支柱を立てた 120 か所の穴掘り



子ども達が以前基地づくりをした場所の整地



整地して苗の仮植え場所に



太いクズの根っこが掘り起こされる



掘り起こした苗木



約 200 本の苗木を伏せ植え



バックホウで砂を掛ける





受付後の今日の参加者



小さいながらもお手伝い



初参加で戦力となってくれました。



いつも作業協力ありがとう。



クズや木の根っこを切りながらの作業



植える苗木を運ぶ



熱心に植えてくれました。



牛ふん堆肥を入れる作業



松ぼっくり



松ぼっくり探し！



お昼のひと時



パパと一緒においしいね！



水炊きを囲んでグローバルな話題まで



水槽の氷大きかったね！



人気がないようですが、植えてます。



水やり用に 500ℓの水を運んで・・・。



120本植え終えたところ

